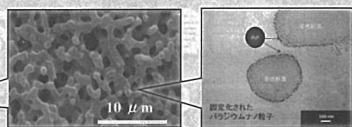
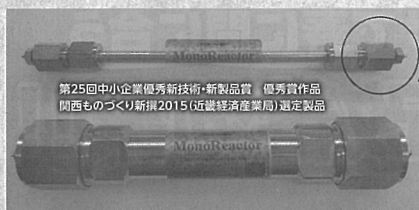


次世代フロー有機合成用ポリマーモノリスリアクター MonoReactor



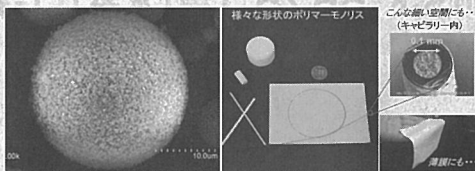
- 通常のHPLC装置で簡単にカップリング反応(鈴木、宮浦、水素化反応等)ができます。
- 触媒(Pd)の流出がありません。
- 新規化合物の開発期間・予算を大幅に縮小できます。

ポリマーモノリスは、非常に均一な細孔と骨格が連続してつながっており、機械的強度が強く、化学的安定性と機能性の高い多孔性高分子材料です。バルクやシート状などのような形・大きさにも作製できますので、是非お問い合わせください。

新技術 新規貫通型多孔性微粒子

モノリスの大きなバルクの作製が困難
貫通型多孔性微粒子を充填することで解決!

- 分取カラム、大量合成用リアクターに應用
- 従来にはなかった粒子内貫通細孔
- その他化粧品ファンデーション、徐放性香料担体など様々な用途に應用可能
- エポキシ、アクリル、スチレンや無機系など多種材料で作製可能



株式会社 エマオス京都

〒615-0055 京都市右京区西院西田町26 TEL.075-323-6113
E-Mail info@emaus-kyoto.com FAX.075-323-6115
詳しい事業説明は、<http://www.emaus-kyoto.com> でご確認ください。



エマオス京都
石塚 紀生 社長

貫通型多孔性微粒子 商業量産、可能に

「今後の展開は、
「サンプル出荷を始めた
「米国で開かれた、著名な化学者が会する環太平洋国際化学会議(PACIFIC ICHEM)に参加、モノリスリアクターについて講演した。予想以上に海外企業の感心は高く、これからは海外普及も計画しています。」

「貫通型多孔性微粒子」の採択事業に京都大学と取り組みで派生した新技術で、簡単に言えばモノリス構造の粒子だ。直径が100〜1000μm程度の粒子で、これを充填し分取カラムなどとして合成や分離に使う。大きなバルク作成は難しいというモノリスの課題を克服し、商業量産対応のリアクターが作製できる

「マイクロリアクターの市場は活況が続いています。一社社のリアクターは構造から注目されています。」「モノリス(共通体)という独自構造だ。モノリスは微細な孔が繋がった貫通孔で、微細なミソで反応させる従来のリアクターに比べて表面積が大きい。精度向上と作業時間の短縮を両立できる。収量も数百倍のグラムオーダーと大きく、パイロットプラントでマイクロリアクターへの動きが加速している。課題は、もちろん課題は、さらにも量産に向けていないことだ」

「商業量産には大型化が必要で。」「キログラムオーダー単位の反応できればならないだろうが、現状では難しい。そこで新たに開発したのが「貫通型多孔性微粒子」だ。モノリス技術を活用し、セパレーター開発という新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の採択事業に京都大学と取り組みで派生した新技術で、簡単に言えばモノリス構造の粒子だ。直径が100〜1000μm程度の粒子で、これを充填し分取カラムなどとして合成や分離に使う。大きなバルク作成は難しいというモノリスの課題を克服し、商業量産対応のリアクターが作製できる

「貫通型多孔性微粒子」の採択事業に京都大学と取り組みで派生した新技術で、簡単に言えばモノリス構造の粒子だ。直径が100〜1000μm程度の粒子で、これを充填し分取カラムなどとして合成や分離に使う。大きなバルク作成は難しいというモノリスの課題を克服し、商業量産対応のリアクターが作製できる

